

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	SOUNEXTパーク志真志				公表日	年 月 日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0	小さな空間でも部屋として区切ることで遊びを分けて分散させることがある。	全体的に狭く、とくに静かに過ごせる部屋が狭い。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	0	週休を1日1名にする。児発管に療育に入ってもらおう。	病欠が出た時、現場負担が大きい。慢性的にバイトスタッフを入れている為、毎度情報共有を行なう必要がある。あと1スタッフがいれば週休・病欠にも安定して対応できる。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切にされているか。	4	2	身体を動かす部屋、落ち着く部屋など空間ごとにやることは伝わりやすいと感じる。	痲痺対応するための静養室で遊んでいる児童がいるため、メリハリがつけづらい。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	清掃は常に行なっている。また、整理整頓もプランナーに声かけをして取り組んでおります。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	静養室が設けられており、子供の意思があればそちらの利用が可能。	部屋数が限られているため個別対応が複数生じると対応できない場合がある。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	0	・朝礼、昼礼でスタッフの動きについても振り返りを入れることでより良い療育時間の提供を図れている。 ・朝礼や個別支援計画書のモニタ前などに行い、全プランナーで意見の出し合いをしている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	・保護者アンケートから出た要望などをすぐに課題に落とし込んでいる。 ・毎月ある保護者アンケートも加え、不安感などはすぐに解決できるよう対応している。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	毎月アンケートの実施がされており、アンケートの内容によっては面談を行なっている。日常的に朝礼・昼礼などで意見交換の場が設けられている。現場リーダー、児発管は日頃従業員の変化を見定め、ケアを行なってくれている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	2		実施していない。実施も含めて検討する
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	1	2か月に1回ほどのペースで福祉に限らず研修が行われている。参加できなかった従業員ように動画データの共有もある。また、アプリ等でいつでも勉強をする環境が用意されている。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	公開されている。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0	面談や日々の関わりの中で、子どもの強み・困り感の両面に丁寧に把握している	保護者、子どもともにアンケートや聞き取り調査でニーズを把握し、療育内容に反映させている。改善すべき点として、予定を組むタイミングが合わない1ヶ月以上先に設定してしまう事がある。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	・計画書を作成する上で、全職員からの意見、考えも取り入れている。 ・日々職員全員でアセスメントをして、共通理解をしている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	・支援記録を通して、計画に沿った支援ができていないか振り返っている ・個別支援計画などの共有も多いため、スタッフ間で共通認識として持つ事ができている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	1		アセスメントの使用はできていないので、共通で使用できるものがあると助かります。

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	次に繋げるための声かけを行い、児童、保護者への意識付けも行なっている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	カレンダーを決める時に、保護者のニーズを取り入れて、みんなで決めている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	・状況に合わせて、様々なチャレンジを意識している。 ・季節に沿ったものや地域のイベントを盛り込む等している	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	利用児童が楽しみながら参加できる必要な支援を取り入れている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	・すぐにトラブル対応できるよう、スタッフ配置をしっかりと考えている。 ・朝礼や昼礼を必ず行い、活動の確認などを行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0	・終礼は行っていないため、次の日の朝礼・昼礼にて振り返りを行なうようにしている。 ・緊急性のあるものについてはすぐに情報共有を行っている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	記録は日々行い、保護者様へも公開している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	児発管を中心に、保護者に来てもらい、計画書や困り感について共有を行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6	0	課題に制作活動を取り入れたり、自由な時間を作って子供達同士でコミュニケーションを取れる環境を作っている。	
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	1	・職員で全て決めるのではなく、児童に「提案」という形で選択肢を提示している ・子どもたちがやりたい課題などは会議でヒアリングして取り入れている。	時間や安全面を優先するあまり、選択肢を提示せずに支援してしまうことがある	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	児発管が療育によく入ってくれている、スタッフからの聞き取りも十分のため現状を把握できていると感じる。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	1	学校での様子、困り感などを積極的に聞き、支援に繋げている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	1	学校行事に関しては基本的に保護者様からの共有をしてもらい、トラブル発生時には即座に保護者様への連絡も徹底している。	できている学校もあるが、支援の先生と毎回会えるわけではないため保護者を通じて把握することが多い（下校時間）情報共有も先生から話したいことがあれば話す機会がある。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	3	・保護者の同意を得たうえで、必要に応じて就学前施設へ情報提供依頼を行う体制を整える ・移行や引継ぎの際に情報共有を行っている	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	4	事業所の特徴上小学校低学年までの受け入れとなっているが、移行の際に必要な情報共有は行っている	移行時の情報提供の手順や基準が明確になっていない
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	0	6		外部の専門的視点を取り入れ、支援の質向上につなげていく
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	4	近隣の公園などに行った際に交流あり。	今後、地域の中での経験を通して、社会性や適応力の向上につなげる

	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	0	6		開催について把握できていない。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	送迎時に保護者へ様子や課題について積極的に共有を行なっている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	3	保護者会を2か月に1回ペースで行っている。	・ペアレント・トレーニングの基礎を学び、職員の専門性向上を図る ・あまりできていないため、役場などで行われているペアトレなどを共有していく。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	・相談を受け、スタッフに共有し、検討した上で再度保護者は助言を行うようにしている。 ・面談を設定し、定期的を実施しているところ。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	6	0	・クッキング、制作活動など保護者とお子様と一緒に取り組みやすい課題の際に交流する機会を作っている。 ・2ヶ月に1回ほど保護者様も参加できる活動を取り入れており、交流の機会を作っている。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	日常的に声をかけやすい雰囲気づくりを意識し、早期に相談しやすい環境を整えている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0	・インスタでは毎日の活動のねらい、様子を写真や動画付きで投稿している。 ・公式LINEを使用して迅速に連絡対応をしている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	SNSに投稿する際は写真掲載がダメな児童が写ってないか二重チェックを心がけている。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	カードを使用して、気持ちを伝え合う工夫を行なっている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	3		地域イベントへの参加やボランティア活動を検討する
非常時等の対	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	1		・防犯対応や感染症対応、事故発生時を想定した実践的な訓練の実施に努めます
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	1		職員間での役割確認やシミュレーションの機会を積極的に設けます
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0	契約時に確認している	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0	指示書を定期的に確認している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0		

へ 応	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	1	家庭と連携しながら、子どもの安全確保に努めている。	改めて安全計画の周知を行う
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	・事例発生後は速やかにミーティング等で状況を振り返り、原因分析を行っている ・日々の情報共有の場で行っている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0		
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0	実施の可能性がある場合は、事前に保護者へ十分な説明を行い、同意を得ている。	